

# 半導体の進化を支える設計支援企業

世界半導体関連フォーカスファンド 追加型投信/内外/株式

- ▶ 当ファンドは主要な投資対象である「Next Generation Semiconductor Fund(円建て、ヘッジなしクラス)」(以下投資先ファンド)への投資を通じて日本を含めた世界中の半導体関連企業に投資を行っています。
- ▶ 本レポートでは、半導体の性能向上を支える設計支援とその関連銘柄、昨年12月に開催された「SEMICON Japan 2023」についてご紹介致します。

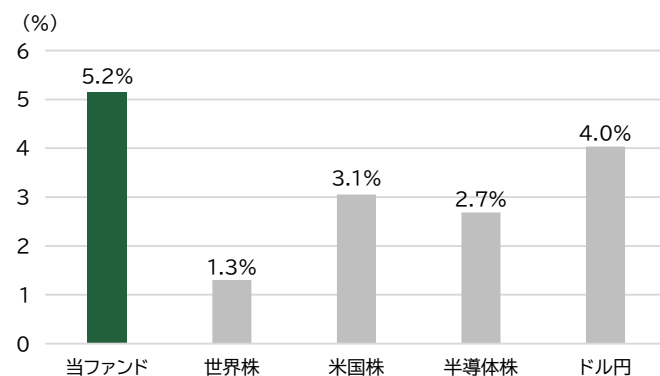


## 年初からの基準価額と半導体関連銘柄の動向について

米国の主要な半導体関連銘柄で構成されるフィラデルフィア半導体株指数は昨年末比2.7%上昇し、過去最高値を更新しました。半導体関連企業の昨年10-12月期業績が概ね好調であったほか、ファウンドリ(半導体受注生産会社)売上高首位である台湾のTSMC(台湾積体回路製造)が今年の業績について、生成AI(人工知能)の本格普及などを背景に、ドルベースで20%台前半の増収になるとの見通しを発表したことなどが好感されました。

為替市場では、堅調な米経済指標を背景に早期利下げ観測が後退したことなどから、円安ドル高の動きとなったこともあり、当ファンドの基準価額は、昨年末比+5.2%上昇しました(図表1)。

図表1 昨年末比の当ファンドと株価、ドル円の騰落率  
(期間 2023年12月29日~2024年1月31日、現地通貨ベース)



※世界株はMSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス、米国株はS&P500種指数、半導体株はフィラデルフィア半導体株指数を使用。いずれも配当込み。  
※指数は現地1営業日前のデータ

(出所) Bloombergデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成



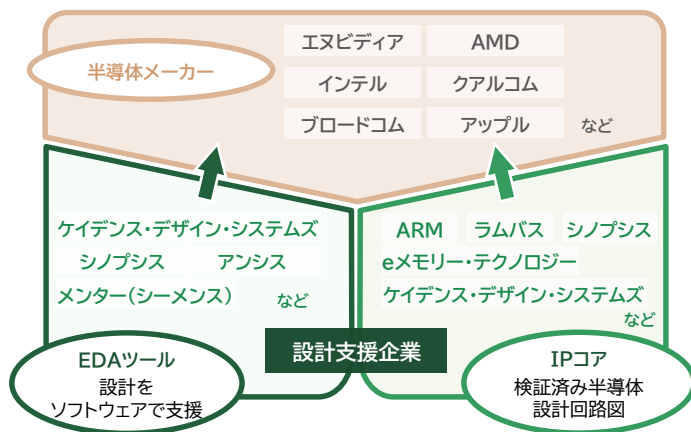
## 半導体の性能向上・作業時間削減に貢献する設計支援企業

半導体の構造が複雑化していくことに伴い、半導体メーカーは、大部分の設計を既に確立された半導体回路図や自動化ソフトウェアを駆使して行い、差別化可能な領域に絞って独自の半導体設計を行っています。

半導体メーカーは早いサイクルで製品化することが重要な競争力となります。そのため、半導体メーカーは既に最適な設計が確立され動作が保証されたものを使うことが、開発コストや開発スピードで最適な選択肢となります。

半導体設計支援企業は、そのような半導体メーカーにEDA(Electronic Design Automation)ツールやIPコア(半導体設計回路図)を提供し、半導体設計を支援しています。

図表2 主要設計支援企業



(出所)ニューバーガー・バーマン

### <本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



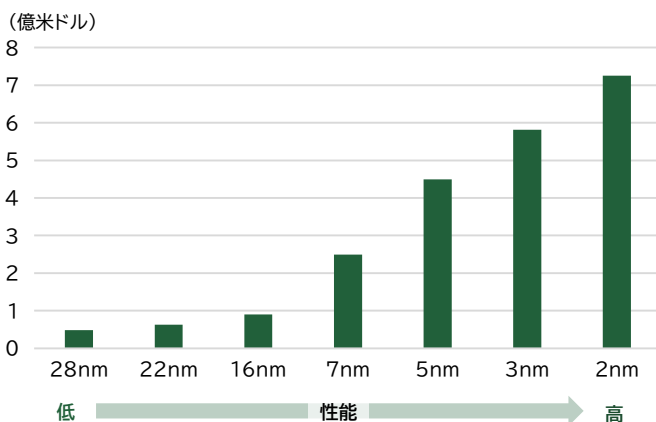
## 半導体設計コスト増加が追い風

半導体の性能が向上する一方で、データ処理の中核を担うコアや電気の流れをコントロールするトランジスタの数が増加するため、設計の複雑化・微細化が進み、半導体設計にかかるコストは右肩上がりとなっています。(図表3)

例えば、半導体の線幅の微細化により、線幅が0.7倍になると、理論的には面積は半分(0.7×0.7≒0.5)となり、同じ面積に2倍のトランジスタを搭載できるようになります。

このような半導体の複雑化と設計コストの上昇は、EDAツールやIPコアの需要を増加させるため、設計支援企業の業績への追い風になると見込んでいます。

図表3 世代別半導体設計コスト



(出所)ニューバーク・パーマンのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成



## 設計支援関連銘柄紹介 ケイデンス・デザイン・システムズ (業種：情報技術)

### 企業概要

同社は、半導体設計回路を描くためのEDAツールにおける大手企業の一つで、高いマーケットシェアを誇ります。

売上の8割以上が安定したEDAツールのソフトウェア利用料のため、半導体産業サイクルの中においても安定的な業績拡大を見せています。EDAツールだけでなく、IPコアの開発・提供も手掛けています。

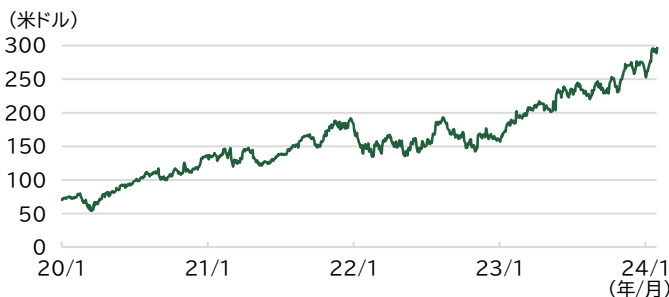
### 投資のポイント

EDAツールやIPコアは信頼性が重要であるほか、ツールの習熟や他社とのやりとりの利便性といった観点から採用変更のコストも大きいため、同社のような大手企業が優位です。また、幅広い分野の半導体向けEDAツールを提供している同社は、生成AI、5G、車載半導体、IoT産業など高成長が見込まれる産業からの需要拡大や、チップ当たり半導体搭載量増加から恩恵を受けると考えています。

同社のキャッシュフロー創出力、バリュエーションを勘案すると、引き続き株価には上昇余地が大きく、投資魅力が高いと判断しています。

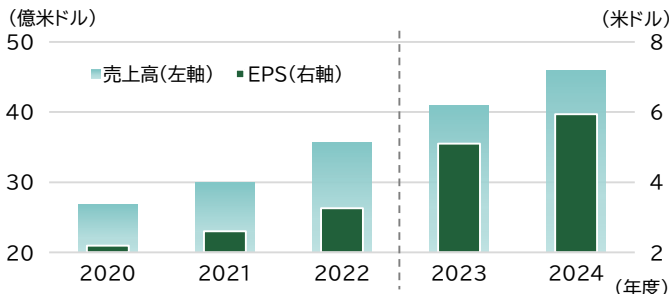
図表4 同社の株価推移

(期間 2020年1月4日～2024年1月31日、日次)



図表5 同社の売上高とEPS(1株当たり利益)の推移

(期間 2020年度～2024年度、年次、予想を含む)



※2023年度以降は予想  
※ケイデンス・デザイン・システムズの決算期末は12月

\* 上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

(図表4～5の出所) Bloombergデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

### <本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



## 最近の話題 大盛況となった「SEMICON Japan 2023」

### 政府による半導体産業の支援意向を強調

昨年12月に、東京ビッグサイトで年に1度の半導体国際展示会「SEMICON Japan 2023」が開催されました。

日本や海外から多くの半導体企業が集結し、出展社数は昨年比で4割以上増の961社・団体、来場者数は同6割以上増の約8万5千人と大盛況となり、半導体業界の盛り上がりを実感させる展示会となりました。

国内企業が強さを見せる半導体製造装置や材料産業を中心に、半導体に関わる人工知能(AI)や自動車関連の展示も多く、半導体産業の最先端技術が集結しました。

また、日本政府高官による講演も行われ、日本政府として半導体産業を支援していくことについても強調されました。

### 「SEMICON Japan 2023」の展示の様子



(出所)ニューバーク・パーマン

### アナリスト注目銘柄：レーザーテック

同社は、ウェハ上に電子回路パターンを形成させる際の原版となるフォトマスク※の検査装置に用いられる高輝度EUV(極端紫外線)光源を自社開発し、これを標準搭載した検査装置「ACTIS A300」の受注を始めました。「ACTIS A300」は「SEMICON Japan 2023」に出展され、注目を集めました。

同社の技術により検査装置の検査精度向上、低消費電力、フォトマスクへの低ダメージ、検査装置小型化といった性能向上が実現する見込みです。

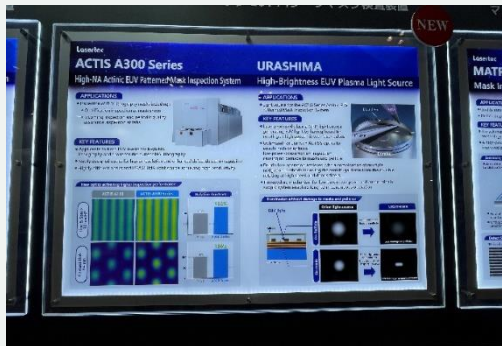
これにより、EUV露光用フォトマスク検査装置における同社の独占的なポジションがより強固なものになると考えられます。

#### ※フォトマスク:

透明なガラス板の上に電子回路パターンの1層分を形成したもので、ウェハ上に電子回路パターンを形成させる際の原版となるものである。単に「マスク」、または「レチクル」とも言う。フォトマスクは、半導体デバイスの製造だけでなく、FPDなどのフォトプロセスを用いる製品の製造に多く使用されている。

\* 上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

### レーザーテック社の展示の様子



(出所)ニューバーク・パーマン

### 図表6 同社の株価推移

(期間 2019年1月4日～2024年1月31日、日次)



(出所) Bloombergデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

### <本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

## 留意事項

### 【SBI岡三アセットマネジメントについて】

商号:SBI岡三アセットマネジメント株式会社

SBI岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

### 【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
  - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「特定の業種・テーマへの集中投資に係るリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」があります。その他の変動要因としては「カントリーリスク」があります。
- ※ 基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

### 【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
  - 投資信託は預金商品、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
  - ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
  - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
  - 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

### 【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
  - 購入時手数料 : 購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3%(税抜3.0%)  
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
  - 換金手数料 : ありません。
  - 信託財産留保額 : ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
  - 運用管理費用(信託報酬)
    - : 純資産総額×年率1.298%(税抜1.18%)
  - 運用管理費用(信託報酬)の実質的な負担
    - : 純資産総額×年率1.948%程度
    - 実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。
    - なお、実質的な運用管理費用(信託報酬)は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料
  - 監査費用 : 純資産総額×年率0.0132%(税抜0.012%)
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等を間接的にご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

## 販売会社一覧

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。  
なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
<b>(金融商品取引業者)</b>					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
岩井コスモ証券株式会社	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○	
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
FFG証券株式会社	福岡財務支局長(金商)第5号	○			○
香川証券株式会社	四国財務局長(金商)第3号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○	○		
大熊本証券株式会社	九州財務局長(金商)第1号	○			
中銀証券株式会社	中国財務局長(金商)第6号	○			
東洋証券株式会社	関東財務局長(金商)第121号	○			○
南都まほろば証券株式会社	近畿財務局長(金商)第25号	○			
水戸証券株式会社	関東財務局長(金商)第181号	○	○		
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○
<b>(登録金融機関)</b>					
株式会社中国銀行	中国財務局長(登金)第2号	○		○	

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)